

人づくり地域づくり関係職員等研修講座（宮古地区）

職員研修

有志指導者研修

要請研修

本研修講座は、地域づくりの事業において、企画を行うための基本的な考え方や、事業の目的を達成するための効果的な方法について学ぶことを目的に開催しました。宮古地区の社会教育や地域づくりを担当する職員を中心に7名が受講しました。講師の坂田静香先生には、東京からリモートで対応していただきました。

人が来ない原因は、「企画力」と「広報・PR力」が不足しているだけ



坂田静香 先生

講師に、昨年度当センター事業「事業プログラム企画運営研修講座」で指導いただいた坂田静香先生を迎え、東京と宮古をオンラインでつなぎ開催しました。

人が集まらない講座の（運営側の）言い訳トップ3の紹介から講義は始まり、演習を交えながら、効果的なチラシの基本的な考え方と作成のポイントをご教授いただきました。演習①では、応募数の異なった3つの講座のチラシを比べ、何がダメでどこが良かったのかグループで協議しました。また、演習②では、グループで事業ポスター作りのワークショップを行いました。集客が良くなかった企画を作り直すという設定で、受講者で意見を出し合いながらポスターを制作しました。最後に「ダメダメチラシと Before After チラシ集」をもとに、手にとってもらえるチラシ作りのポイントを学びました。

坂田先生自身が集客に失敗した講座を分析し、改善を重ねながら築き上げてきた「チラシ作り」のノウハウはとても参考になるものばかりで、受講者のみなさんもとても熱心に学んでいました。

チラシは、タイトルにこだわれ！ ゴールがみえるタイトルをつけること！

【講義内容を一部紹介】

- ・魅力的な企画にしていけるためには、チームで企画したり、参加対象者当事者を交えたりするなど企画する人材を増やすことが大切。
- ・「読ませるチラシ」より「見せるチラシ」を心掛け、ターゲットの心に響くキャッチーな言葉で、企画の“売り”を目立たせることが大切。



演習①の様子



演習②の様子

《受講者の声》

★チラシの例を紹介していただきながらの講座だったので、自分に置き換えて考えることができ、より分かりやすかった。

★チラシ（PR）について、今まで認識が甘かったことを感じた。説明に加え、具体の例も提示いただき分かりやすかったし、職場で共有したいと思った。

★届けたいターゲットを絞り、その人に来てもらうための企画の組み立て方の重要性を実演を通して学ばせていただいた。

《受講者の評価》

A（有意義）	100%
B（どちらかといえば有意義）	0%
C（あまり有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（佐藤）から》

事業のチラシ作りについて私自身とても勉強になりました。「最後の決め手は、担当者の熱意と努力」という坂田先生の言葉を大事にしながら、これからの事業を企画運営していきたいです。